

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	建築環境・設備特論
科目基礎情報				
開設学科	建築学科	コース名		開設期 前期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	2級建築士講座テキスト・2級建築士問題集 学科I 建築計画 総合資格学院			
担当教員情報				
担当教員	丸山尚子	実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的				
<p>建築計画特論、建築環境・設備特論、建築法規特論、建築構造特論、建築施工特論、建築士受験対策の6教科は、建築設計科（二年制）を卒業して、建築学科3年次に編入した学生を対象に行われる二級建築士の学科試験の対策授業である。建築環境・設備特論では、学科I分野（建築計画）のうち環境工学、建築設備の知識を習得し、二級建築士試験合格を学習目的とする。さらに、二次試験（製図試験）に必要な関連知識の修得を到達目標とする</p>				
到達目標				
<p>二級建築士の学科試験の学科I分野（建築計画）において、各科目の基準点である13点以上を取ること。及び、学科試験I分野から学科試験IV分野の合計点において、合格基準点の60点以上をとることを到達目標とする。</p>				
教育方法等				
授業概要	教科書及び問題集を活用し「予習」「講義」「復習」の段階を繰り返し行い2級建築士試験に向けて記憶の定着を図り進めていく。授業毎に確認テストを行い授業の理解度を確認し、解答の導き方においてはグループ学習を取り入れる。			
注意点	「予習」を前提に授業を行うため各回の範囲のテキストを一読し、問題集を必ず解いて提出すること。自宅学習で理解不足の部分を講義で確認し理解して授業を終えること。講義後はテキストや問題集の見直しを行い、理解度を確認し知識の定着を図ること。授業は全て出席を前提とし、本試験に向けて学習計画を具体的に立てること。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	70%	二級建築士学科試験の結果を評価する	
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	気候・空気	気象・気候、室内気候、空気汚染について理解する		
2回	熱(1)	伝熱理論、結露、断熱、気密性能について理解する		
3回	熱(2)	省エネルギー、遮熱性能、断熱性能について理解する		
4回	光	採光、日照、日射について理解する		
5回	音	音の性質、吸音・遮音、残響・反響、騒音について理解する		
6回	色彩	光・色の三原色、色彩表示、色彩と心理について理解する		
7回	計画言論まとめ	計画言論まとめテストにおいて合格点を取ることができる		
8回	空気調和設備	熱源機器、暖房設備、蓄熱式空調システム、省エネ空調について理解する		
9回	給水設備	給水設備、給湯設備、ガス設備について理解する		
10回	排水・衛生設備	排水設備、衛生器具設備、排水処理について理解する		
11回	電気・照明設備	電気設備、照明設備について理解する		
12回	消火・防災設備	消火設備、自動火災放置設備、防火・避難設備、防災計画について理解する		
13回	省エネルギー	環境保全の評価基準、省エネルギーの評価について理解する		
14回	建築設備まとめ	建築設備まとめテストにおいて合格点を取ることができる		
15回	総まとめ	総まとめテストにおいて合格点を取ることができる		